

## 北陸・信越版

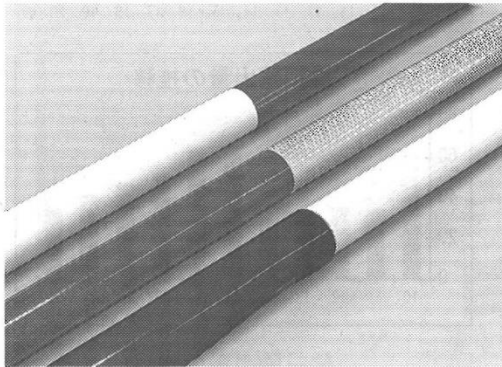
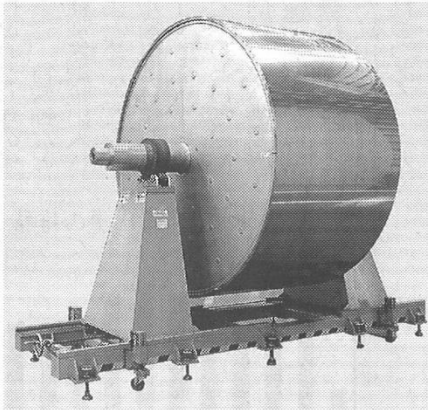
### メイド・イン上越

# 日鉄工材のチタン製電着ドラム、 有沢総業のスノーポールを認証

上越地域の企業の販路開拓や技術開発を支援する上越ものづくり振興センターは優れた商品を認証する「メイド・イン上越」に日鉄工材のチタン製電着ドラム(電解銅箔製造設備)と有沢総業のアリスワ・リフレクションスノーポール「レルヒ」を認証した。

「メイド・イン上越」は、上越市内に事業所がある企業が開発・製造する製品が対象で①新規性・オリジナリティ②信頼性③市場性が評価される。認証によりメイド・イン上越認証ロゴマークの使用が可能になり、県

チタン製電着ドラム①、アリスワ・リフレクションスノーポール



## 独自性、信頼性、市場性を評価

内外で開催される共同展示会でのPRやパネル展示などで認知度向上のメリットがある。上越ものづくり振興センターでは地元人材の技術情報提供システム登録を自指していく。広報関連の取り組みでは

日鉄工材のチタン製電着ドラムは、情報通信機器のフレキシブル基盤用の導電シート、リチウムイオン電池のカーボン負極用の集電材として使われる電解銅箔製造用設備。国内外でトップシェアを誇る。電着ドラムの外周はチタン製で、高度な溶接技術と仕上げの品質の高さが評価され、熟練者は現代の名工にも認定されている。

10月下旬には認証企業と上越市の研究開発支援事業「新産業創造支援事業補助金」採択者による事例、成果発表会を予定している。今後は試作、量産、「メイド・イン上越」認証の流れを普及させるべく、一企業だけでなく複数企業の連携による評価、認証も検討していく考えだ。

担当者は「普段から周辺道路標識柱。軽量で夜間時マツチングで可能なノウハウの視認性を高めるべく反射ウを共有し、さまざまな素材を扱う大手企業が集積する上越地域らしいものづくり支援、人材育成を継続し

「スト低減が期待できる。独自設備を使用し連続引き抜